

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	ピアノ実技Ⅲ（実践）					授業形態	実技		
科目コード	750174	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子							ICT活 用	
授業概要	<p>この授業は、幼稚園教育実習および保育所実習を控えた学生を対象に、実習先で演奏する楽曲を中心に学習しながら、「ピアノ実技Ⅱ（応用）」で身に付けた基本的な和声進行、それに基づく簡易伴奏や弾き歌い技術をさらに高めることを目的とする。また、簡単な楽曲分析を行いながら楽式の理解を深め、芸術的な表現力を向上させる。</p>								
関連する科目	<p>事前に「音楽」を受講し、楽典やソルフェージュの学習によって楽譜の読み方が分かり、視唱・視奏などの実践が容易にできていることが望ましい。また、「ピアノ実技Ⅰ（基礎）」および「ピアノ実技Ⅱ（応用）」の受講を通して、ピアノ奏法の基礎力や応用力を身につけていることが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>受講者は、各レッスン室で個人指導を受け、順番を待つ間は音楽室の電子ピアノで自主練習を行う。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>課題曲のレッスン 音楽理論の理解を促し、演奏に必要な技術や知識を学ぶ</p>								
授業計画 【第2回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(春)① 楽譜を分析し、リズムやメロディーの特徴を学ぶ</p>								
授業計画 【第3回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(春)② 和声進行や調性などを把握する</p>								
授業計画 【第4回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(夏)① 楽譜を分析し、リズムやメロディーの特徴を学ぶ</p>								
授業計画 【第5回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(夏)② 和声進行や調性などを把握する</p>								
授業計画 【第6回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(秋)① 楽譜を分析し、リズムやメロディーの特徴を学ぶ</p>								
授業計画 【第7回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(秋)② 和声進行や調性などを把握する</p>								
授業計画 【第8回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(冬)① 楽譜を分析し、リズムやメロディーの特徴を学ぶ</p>								
授業計画 【第9回】	<p>実習先の楽曲・季節の歌(冬)② 和声進行や調性などを把握する</p>								
授業計画 【第10回】	<p>実習先の楽曲・生活の歌① 基本的なコード進行や伴奏パターン、リズムを練習する</p>								

授業計画 【第11回】	実習先の楽曲・生活の歌② フレーズや音色の変化などを練習し、曲の深い感情を表現する
授業計画 【第12回】	実習先の楽曲・行事の歌① 歌唱力を向上させるために、音程やリズムを意識しながら歌唱練習を行う
授業計画 【第13回】	実習先の楽曲・行事の歌② 歌唱曲のアレンジを通して自己表現を深める
授業計画 【第14回】	試験曲の練習 試験曲を通して、その曲が持つ歴史的・文化的背景や作者の意図を理解し、より深い表現力を追求する
授業計画 【第15回】	試験曲リハーサル 試験曲の演奏に必要な様々な要素を習得し、より高度な演奏技術と表現力を身につける
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発達段階、季節や機会に応じた歌唱曲の伴奏技術を向上させる。 2. 主要三和音を中心とした基礎的な和声理論をもとに様々な楽曲の簡易伴奏ができるようになる。 3. 人前で弾き歌いをすることに慣れる。 <p>* 授業での十分な実践と自主練習を通し、着実かつ確実に習得する。</p>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	ピアノレッスンは、十分な自主練習(予習)を行って臨んでいることが前提となる。日々の練習の積み重ねが、上達の鍵となる。わずかな時間でも日々ピアノに向き合い、練習に努めること。(合計2時間半程度:1日20~30分) ※ 練習不足による未熟な演奏で、実習先に迷惑がかかることのないよう日々の練習を欠かさないこと。ピアノが苦手でも、一所懸命取り組んでいればその努力や熱意、真剣さは伝わります。
授業時間外学習【復習】	レッスン後、速やかに自主練習を行い、レッスンで指摘された部分については特に重点的に練習し改善を図る。次のレッスンまで、時間を見つけてコツコツと自主練習に励むこと。(予習も兼ねて合計2時間半程度:1日20~30分)
課題に対する フィードバック	マンツーマンの個人レッスンを通して、個人のレベルやニーズに応じた指導を行います。
評価方法・基準	受講態度: 40%、自主練習の有無: 30%、実技試験: 30%
テキスト	※基本的には、実習園指定の楽曲を各自用いる。 大石みつ・下村幸・鳥居美智子『幼児保育のための楽しい歌とあそび』(音楽之友社)
参考書	全国大学音楽教育学会 九州地区学会 編 『ピアノテキスト』 (カワイ出版)
備考	授業時間は「2時間」で、開始および終了時にはレッスン室に集合し担当教員の指示を受ける。 複数の専門教員が担当します。